

アル・アクサ洪水第6 1 2日目：スムード・コンボイが出発 | マドリーン活動家が拘束される | 援助物資の輸送が激化

Palestine Chronicle、2025年6月9日、脇浜義明訳 *脚注は訳注



イスラエル占領軍は、自由の船団のマドリーン号を拿捕したときの画像を公表した。(Via social media)

主要事項

*イスラエル占領軍は自由の船団のマドリーン号を拿捕したときの映像を公表した。船は国際水域上で拿捕され、活動家は全員逮捕された。

*ネツァリム回廊検問所の近くのいわゆる「援助」物資配給センターに集まったパレスチナ人をイスラエル軍機が機銃射撃し、少なくとも28人が負傷した。

*ガザのパレスチナ保健省によれば、2023年10月7日以降イスラエルは54,927人を殺害し、126,615人を負傷させた

最新情報

6月9日 11:40pm (パレスチナ時間)

*アル・ジャジーラ：自由の船団連合のフワイダ・アラフはアル・ジャジーラの取材に対し、活動家たちは一時間前に逮捕され、アシュドッド港に拉致されたと語った。彼女は、イスラエルは権限のない公海上でマドリーン号を不法に拿捕し、乗組員を拉致したと強い口調で言った。また、自由の船団連合本部とマドリーン号の乗組員との通信をイスラエルが遮断したのは不当だと言った。彼女は世界各国政府にイスラエルに説明責任を要求するように呼びかけ、自由の船団連合は今後もガザ封鎖を破るために船を送り続けると誓った。

*イスラエル・メディア：イスラエル軍はイエメンのラス・イサ港、ホデイダ港、サリフ港に人々に対し、追って通知があるまで港を離れて居よと警告した。

*パレスチナ・メディア：ガザ医療サービスの報告では、ガザ市東のアットゥファーフ地区から負傷者を運び出そうとしていた救急隊員3人がイスラエル軍によって殺害された。

*パレスチナ・メディア：ガザ市のバプティスト病院の医療者の報告によると、アットゥファーフ地区へのイスラエル軍の砲撃でパレスチナ1人が死亡し、他に何人かが負傷した。アル・ジャジーラの特派員の報道では、ガザ市西のアル・カティバ地区の避難民テントへのイスラエル軍の砲撃で数人のパレスチナ人が負傷した。

6月9日 10:47 pm

*アル・ジャジーラ：今日、パレスチナ連帯陸上輸送隊「スムード人道コンボイ」¹が、ガザ封鎖を突破する任務で、ラファ検問所へ向かってチュニジアを出発する。このコンボイには、アルジェリア人、リビア人、モロッコ人、モーリタニア人など1,500人を超える活動家が参加している。

6月9日 10:39 pm

*イスラエル・メディア：イスラエル外務省はマドリーン号がアシュドッド港に到着し、乗組員は健康診断を受けていると発表した。

*イエディオト・アハロノト：政府高官は、ガザでの合意に向けた努力は継続中で、希望を捨てていないが、今のところ突破口は見つかっていないと言った。ハマスが戦争再開を阻止する保証を求めるといのが、イスラエル側の一般の見方である。軍事的・外交的圧力でハマスの態度が変化した兆候は見られないと、高官は述べた。

*フランス・メディア：フランスのマクロン大統領は「我々は早急な停戦とガザ封鎖の解除を求める。停戦、人質解放、国連の活動開始を求める。また、我々はマドリーン号の拿捕と乗組員の扱いを注意して見ている。一般市民を守るのが我々の義務だ。ガザ封鎖は言語道団である」と言った。

*アル・ジャジーラ：イスラエル軍はアル・ジャバリヤ・アル・バラドの住宅地を砲撃し、多くの住宅を破壊した。

6月9日 10:34 pm

*パレスチナ・クロニクル：イスラエル政府がガザ支援物資を積んだ船を拿捕した直後、ガザ封鎖を破る運動グループが、今日、包囲封鎖されたガザへ緊急人道支援物資の輸送運動を続けると宣言した²。

6月9日 9:43 pm

*アル・ジャジーラ：イスラエル軍がガザ市西にあるアブ・イスカンダール製パン所を砲撃し、7人のパレスチナ人が負傷した。また、イスラエル軍はジャバリヤ・アル・バラドの民家を爆撃した³。

*カン：イスラエル海軍がマドリーン号を追跡し、船が海軍封鎖線から数時間のところで停船させる決定をした。マドリーン号が国際水域を航行しているとき海軍特殊部隊とサナフィール部隊が船に接舷し、兵隊が乗り込み、船の操縦を支配し、現在アシュドッド港に向かって、まもなく到着するであろう。行動が遅れたのは距離とマドリーン号の動きの遅さであった。アシュドッド港に着くと活動家は警察に引き渡される。

*アル・ジャジーラ：欧州議会の報道官は「世界のどこにしようと議員を保護するのは我々の最優先義務である。我々はイスラエルと連絡を取って、マドリーン号に乗っているリマ・ハッサン議員の安全の確保を要請した。我々はすべての欧州議会の議員の安全と、何処にしようと敬意をもって扱われることを要求する。」と述べた。

*アル・ジャジーラ：96人の議員がスターマー英首相に書簡を送った。書簡の内容は、「ガザにおける破壊規模は本当にジェノサイドの危険をはらんでいる。我々は英国とイスラエルとの間の貿易協定の中止を要求する。また、不法入植者への制裁と入植地との貿易の禁止を求める。また、パレスチナ人に対する戦争犯罪を理由にイスラエルに制裁を課すことを求める」というもの。

¹ 「スムード」は復元力を意味し、パレスチナ人を象徴する言葉。

² <https://www.palestinechronicle.com/violation-of-international-law-israels-seizure-of-madleen-condemned/>

³ <https://www.palestinechronicle.com/gaza-death-toll-mounts-scores-killed-as-aid-centers-become-death-traps/>

*アル・カッサム旅団：アル・カッサム旅団はアンサールツラの参謀総長からのアル・カッサム旅団の指導部とメンバーに宛てたメッセージを公表した。「我々はイエメン人民、イエメン軍、イエメン指導部がパレスチン人と並んで戦場に留まることを約束する。アル・カッサム旅団のムジャヒディーンが行うユニークな作戦は世界の解放を求める人々を鼓舞する。ガザは誇りの象徴である。イエメンにアル・カッサム旅団に倣うものがある限り、決して打ち負かされることはない。」

6月9日 8:27 pm

*ネタニヤフ連合政権危機：超正統派ユダヤ教徒の政党シャスは、今日、明後日の議会ではクネセト解散に賛成票を投じると発表した。これは与党連合内部緊張の高まりを反映している⁴。

6月9日 8:18 pm

*アル・ジャジーラ：不服従のフランス党の党首ジャン・リュック・メランションはマドリーン号の活動家たちの勇気を称え、ガザ封鎖を解除しなければならないと述べた。彼は今ガザで起きているのはジェノサイドであり、人を窒息させる封鎖であると言い、ネタニヤフは我々を脅かすほど大物ではないと述べた。彼はガザ・ジェノサイドは容認できないと強く言い、フランスはパレスチナ国家樹立を承認すべきだと主張した。

*パレスチナ・メディア：ガザ回廊の病院筋の報告によれば、今日明け方からのイスラエル占領軍のカザ回廊各地への攻撃で、51人のパレスチナ人が死亡した。

*アル・ジャジーラ：不服従のフランス党のジャン・リュック・メランションはマドリーン号の活動を、ネタニヤフの犯罪政策を暴露したとして、称賛した。彼は活動家たちがどうなるかを心配している。彼はイスラエルは国際水域で海賊行為を犯し、免責特権を持つ欧州議員を逮捕したと、イスラエル非難を繰り返した。

*国連：国連事務総長の報道官ファルハン・ハクは、数日間以内に解決方法が見出されなければ、国連の救援活動全体が止まってしまう可能性がある、と警告した。ガザの燃料備蓄は非常に低くなっており、生活に不可欠なサービス活動や人道支援活動への妨害圧力が高まっていると言った。

*アル・ジャジーラ：ハーン・ユニスのものマワシ地区の避難民テントへのイスラエル無人機の攻撃で、数人のパレスチナ人が負傷した。アル・ジャジーラの特派員の報告によれば、ナセル総合病院の付近の民家へのイスラエル軍の猛爆撃で病院とその付近の建物が損壊した。

*ガザ市民防衛団：我々の活動に対するイスラエル占領軍の扇動は、真実を覆い隠し、占領軍の民間人に対する犯罪行為を隠蔽するものである。

*ハマス声明：ハマスは組織的なイスラエルの犯罪とネタニヤフと占領軍指導者を裁判で裁くために、第三者による国際的独立調査を要求した。また、イスラエルと米国の怪しげな援助物資配給センターを廃止し、国連とその機関など正統で中立的団体による物資配給を求めた。さらに、国連安保理や国際機関がガザ・ジェノサイドを止め、封鎖を解除する緊急行動の実施を求めた。

*パレスチナ・メディア：イスラエル占領軍はハーン・ユニスのハマド住宅街とナセル総合病院近辺の二か所を空爆した。また、ラファの西のいわゆる救援物資配給センター付近で占領軍の発砲でパレスチナ人1人が死亡した。

6月9日 6:39 pm

*パレスチナ・クロニクル：国際赤十字委員会（ICRC）はイスラエルのジェノサイド攻撃と人道支援物資搬入の妨害のために、封鎖されたガザの医療システムが「非常に脆く」なっていると警告した。「この2週間でラファの赤十字野戦病院は銃撃や榴散弾による負傷者を多数受け入れ、大量死傷者事件対応体制を12回も取った」と、ICRCは今日の声明で述べた⁵。

*アル・ジャジーラ：南レバノンの町アンヌマイリア付近をイスラエル軍無人機が襲撃した。ネット・メディアは無人機の砲撃で炎上した車両の動画を配信した。

*英国首相府：英国首相府は声明で、「我々はイスラエルがマドリーン号抑留問題を国際人道法に沿って処理することを要望する。ガザの人道的状況に関する立場ははっきりしている：悲惨で容認できないと思っている。」と述べた。

⁴ <https://www.palestinechronicle.com/israels-coalition-crisis-ultra-orthodox-shas-party-to-vote-for-knesset-dissolution/>

⁵ <https://www.palestinechronicle.com/icrc-warns-gazas-healthcare-system-fragile-amid-increasing-gunshot-wounds/>

*アイルランド外務省：アイルランドの外務大臣は、マドリーン号事件はガザ回廊への援助物資に対する封鎖を解く緊急の必要性を象徴するものであると言った。イスラエル軍は12人の国際的活動家を乗せてガザへの支援物資を運ぶ船を今朝拿捕し、国際的な非難と怒りが広がる中、イスラエルのアシュドッド港へ曳航した。

*アル・ジャジーラ：自由の船団連合のメンバーのコヴァ・パテルリはアル・ジャジーラの取材に対して、「我々はマドリーン号の乗組員と直接通信することはできない。活動家たちが別の船に移し替えられたかどうかも分からない。マドリーン号の拿捕は違法である。マドリーン号の航海は終わったが、ガザ封鎖を突破する運動は今後も続ける」と語った。

*パレスチナ・メディア：ナセル総合病院の医療筋の報告によれば、ハーン・ユニスの子小児産科病院で、子どもが1人栄養失調で死亡した。先月世界食糧計画(WFP)はガザでは70,000人以上の子どもが栄養失調状態にあると発表し、早急で無制限の援助物資のガザへの流入を認めよと強く訴えた。

*イスラエル・メディア：人質家族会は、「政治的利害関係のために人質解放を妨げてきた。今こそそれを終わらせる時だ。本当に人質解放をのぞんでいる人はちっぽけな政治的打算に結びつけない。政府は戦争終結と即時全人質解放の選択をしなかった。人質問題を早期に選挙を実施するかどうかをめぐる政治的打算で考えないで欲しい」と言った。

6月9日 5:05 pm

*ファイク博士の遺産：これはイスラエルの空爆で死亡したアル・アクサ大学副学長ファイク・アンナウグ博士の話だけでなく、戦争の中でいかに生きるか、いかに人間らしく振る舞うかを教えてくれた人の話である。戦争で荒廃したガザからのナダ・ハムドゥーナの報告を読みたい。[\(Nada Hmadona, "What Israel's War in Gaza Couldn't Kill: Knowledge, Memory, and Dr.Faiq's Legacy", Palestine Chronicle, June 9, 2025\)](#)

*イスラエル・メディア：ソロカ・イスラエル病院の報道官は、開戦以来4,189人の負傷者を受け入れたと言った。先週は、ガザ回廊の戦闘で負傷した兵士10人を受け入れた。

*パレスチナ・メディア：ガザ回廊の病院筋の報告によると、今日明け方からのイスラエル占領軍のガザ回廊各地への攻撃で、44人のパレスチナ人が死亡した。

*ロイター通信：イタリア議会文書によれば、イタリアはイスラエルのスパイウェア企業のパラゴンとの契約終了に伴い、それを解除した。契約解除は、この監視技術がジャーナリストや移民救助隊員など政府批判者に使われていることが発覚し、政府非難の声と調査を求める声が高まったためである。

*パレスチナ・メディア：アッシーファ病院の医療者の報告によれば、イスラエル占領軍のガザ市北部のアッサフタウィ地区への砲撃で、パレスチナ人1人が死亡し、数人が負傷した。

*アル・クッズ旅団：我らの戦士がイスラエル軍の無人機を捕らえた。無人機は「エボ・マックス」型で、ジャバリア難民キャンプの東で捕らえた。無人機から重要な情報を入手した。

6月9日 5:00 pm

*チャンネル12：エルサレムのアイン・カレム近くの山林で火が発生した。大規模な森林火災で住民の避難が行われている。民主党のヤイル・ゴランはネタニヤフの「絶対的勝利」というスローガンは単なる嘘だと言った。また、彼は、ネタニヤフが言うガザ回廊占領は安全保障上の目的ではなく、反対にイスラエルの安全保障を弱体化し、人質や兵士の命を危険にさらすネタニヤフの保身政策であると述べた。

*アル・ジャジーラ：スウェーデンのヤコブ・リスバーク国会議員はアル・ジャジーラの取材に対して、EUのイスラエル批判は生ぬるく、十分ではないと言った。

*チャンネル14：ネタニヤフ首相とイスラエル軍参謀総長は昨日会談し、ガザでの軍事行動を強化する決定をした。

*パレスチナ・メディア：ナセル総合病院の医療筋の報告によれば、今日、ラファ市の米民間会社の「救援」物資配給センター近くで14人のパレスチナ人が殺害された。

*チャンネル12：エルサレムのアイン・カレム近くの山林で火が発生し、当局は消防隊を派遣すると同時に何軒かの世帯を避難させた。

*アル・ジャジーラ：ガザ市西のナブルシ交差点付近とジャバリア・アル・バラドの一軒の家へのイスラエル軍の砲撃で数人のパレスチナ人が負傷した。

6月9日 2:21 pm

*パレスチナ・メディア：西岸地区トゥバス南の町タムンの子ども2人をイスラエル占領軍が尋問のために召喚し、そのまま逮捕した。トゥバスの囚人クラブの代表ノカマル・バニ・オデの報告によれば、占領軍は二人の子ども、バシャー・バニ・オデとスレイマン・バニ・オデ（どちらも17歳）を尋問した後逮捕した。

*ガザ保健省：この24時間イスラエル軍のガザ各地への流血の侵攻で、死者47人、負傷者388人が出た。2023年10月7日からの累計死者は54,927人で、負傷者は126,615人となった。

*スペインの副首相：スペインの労働大臣兼副首相は、ガザへ人道支援物資を運んでいたマドリーン号の拿捕を厳しく非難した。この国際法違反に対してEUは断固たる対応をしなければならない。副首相はイスラエルに捕らえられているボランティアに連帯を表明し、彼らの即時釈放を要求した。

*フランス外相：フランスのジャン・ノエル・バラ外相は仏領事館チームがマドリーン号のボランティアの保護活動をする」と述べた。彼はイスラエル当局にマドリーン号のフランス国民に対する領事館保護を保証するように求めた。マドリーン号の拿捕事件の性質については、拿捕位置を確認してから判断すると言った。

*イスラム聖戦運動：パレスチナのイスラム聖戦運動はイスラエル占領軍のマドリーン号襲撃はあからさまな国際法違反だと言った。同船襲撃は国際的拉致になり、ガザでジェノサイド犯罪を犯している上に、海で海賊行為犯罪まで犯していると言った。イスラム聖戦は、人間性と良心に従って危険を冒した拉致された活動家たちに全面的連帯を表明した。

*ガザ政府メディア・オフィス：いわゆる「ガザ人道財団」は130人のパレスチナ人死者と千人以上の負傷者を発生させた。財団は嘘情報を流し、抵抗勢力が援助物資配給を妨害しているというデマを流している。人道支援を口にしながら軍事作戦を実行する組織は援助団体だとは言えない。

*ガザ封鎖を破る国際委員会 (ICC)：封鎖されたガザ回廊の海岸に接近していたマドリーン号を拿捕したイスラエルは「戦争犯罪国家」である。我々はXプラットフォームで世界の活動家にイスラエルに拘留されている連帯活動家への支援の継続を呼びかけた。

*パレスチナ・メディア：ガザ回廊病院筋の報告によれば、今日明け方からのイスラエル軍のガザ回廊各地への攻撃で、パレスチナ人32人が死亡した。

*アル・ジャジーラ：スペイン外務省へのアル・ジャジーラの取材に対して、外務省筋はスペイン政府がイスラエル臨時大使を召喚して、人道支援使命を行っていたマドリーン号拿捕と人道支援活動家逮捕に抗議したと言った。

*アムネスティ・インターナショナル：マドリーン号は占領地ガザ回廊の違法な封鎖を破るために人道支援物資を運んでいた。乗組員はみんな人道支援ミッションを遂行する非武装の民間人であった。そういう船を拿捕したのは国際法違反である。占領国としてのイスラエルは被占領地ガザの民間人の食料や薬品へのアクセスを保証する義務がある。

*イエディオト・アハロト：イスラエル刑務所局はマドリーン号の活動家を囚人として受け入れる準備をし、ラムラ市のギヴォン刑務所に彼ら用の別房を用意した。イタマール・ベン・グヴィル国家安全保障大臣は、通信機器、ラジオ、テレビジョンの刑務所持ち込みの禁止を指示し、刑務所内でパレスチナのシンボルになるものの提示も禁止した。

*パレスチナ・メディア：ガザ市のバプテリスト病院の医療者の報告によると、今日、イスラエル軍の連続的なシェジャイヤ地区とザイトゥーン地区への砲撃で、11人のパレスチナ人が死亡した。

6月9日 12:13 pm

*パレスチナ・クロニクル：イスラエル軍がガザ回廊南部と中部の救援物資配給センター付近を銃撃し、多数の死傷者が出た。両地域は広範な飢えと避難民でいっぱいであった。パレスチナ・ニュース&情報局 Wafa によると、南部のラファのいわゆる救援物資配給センターでは8人のパレスチナ人が射殺された。彼らは必死になって食料配給を待っていたときに襲撃された。

*イスラエル・メディア：兵士と人質の母親たちが、戦争終結と捕虜交換交渉を行えと政府に要求する5日間の大衆行動を呼びかけた。

*パレスチナ・メディア：ガザ回廊の病院筋の報告では、今日夜明けからの占領軍のガザ回廊各地への絶え間ない砲撃で、23人が死亡した。

*イスラエル・メディア：民主党の党首ヤイル・ゴランは、現在の戦争には正当性がなく、国際刑事裁判所から逮捕状が出ているネタニヤフ政府の存命を図る政治的駆け引きだと言った。ゴランは今日の声明で、政府打倒が唯一のイスラエル救済の道で、それは出来るだけ早く行わなければならないと言った。

*イスラエル・メディア：チャンネル12の報道によれば、ネタニヤフ首相は自分の贈収賄裁判の尋問のため、今日、テルアビブ中央裁判所に出廷した。チャンネル13によれば、ネタニヤフは「重要な」政治的要件があるので、尋問時間の短縮を要請した。

*パレスチナ・メディア：イスラエル軍がラファ西の米国民間会社のいわゆる援助物資配給センターを銃撃し8人のパレスチナ人が死亡したと、ナセル総合病院の医療筋が報告した。

*アル・ジャジーラ：今朝、ガザ回廊北部の町ジャバリアのオールド・ガザ通りの人々をイスラエル無人機が襲撃し、何人かが負傷した。

6月9日 9:09am

*イスラエル・メディア：今日、人質の家族と支援活動家たちがテルアビブのリクード党本部の前で抗議集会を行い、すべての人質の帰還を実現するために捕虜交換交渉を実施せよと要求した。自由の船団問題に関しては、元海軍司令官がマドリー号拿捕は不必要だった、それは外交問題として扱うべきだったと、述べた。

*ハマス声明：ハマスは、占領軍がパレスチナに連帯するマドリー号を国際水域で拿捕するという海賊行為を、強く非難した。マドリー号を拿捕して、絶滅戦争にさらされているパレスチナ人へ象徴としての援助物資を届けるのを阻止したのは、国家テロであると言った。ハマスは確固たる精神でイスラエルの脅威に立ち向かい、ガザが孤独でないこと示した連帯活動家たちに敬意を表した。マドリー号、並びに今試みようとしているアルジェリア、チュニジア、ヨルダン、その他の地域からの陸送コンボイは、シオニストのプロパガンダが失敗した生きた証拠である。ハマスは連帯活動家たちの即時釈放を要求し、活動家たちの安全確保は占領軍の責任であると言った。ハマスは国連と国際機関にイスラエルの犯罪を非難し、パレスチナ人に対する封鎖を解かせる緊急行動をすることを要請した。

*イスラエル軍ラジオ放送：今日、野党指導者のヤイル・ラピッドが、ガザ戦争は明確な目的がないためにうまくいっていないと述べた。我が軍がすでに20か月間にわたってガザを攻めていることを踏まえての発言である。

*イエディオト・アハロト：ガザへ向かっているマドリー号をめぐるイスラエル軍部と政府高官の間で緊張があった。

6月9日 7:52am

*パレスチナ・メディア：アル・アウダ病院の報告では、ネツァリム回廊付近のいわゆる「援助」物資配給センターに集まった人々に対してイスラエル軍機が爆弾と実弾で襲撃し、少なくとも28人のパレスチナ人が負傷した。

*SNS：1967年戦争以降イスラエルが占領したパレスチナ領の人権状況に関する国連特別報告者フランチェスカ・アルバネーゼは、マドリー号が国際水域で拿捕された後、船と乗組員の解放を確保するために、英国政府に緊急行動を取ることを要請した。

*イスラエル・メディア：イスラエル・カツ国防大臣は、ガザ封鎖を突破しようとガザに向かっているマドリー号を軍が拿捕したので、軍を称賛した。「私は軍が迅速に行動してマドリー号を阻止したことを称賛する」と述べた。

6月9日 6:48am

*パレスチナ・メディア：アル・アウダ病院の発表によれば、ヌセイラト難民キャンプの北にある救援物資配給センター付近でイスラエル無人機攻撃で負傷した2人のパレスチナ人が病院へ運び込まれた。

6月9日 4:29am

*経過情報：自由の船団連合はイスラエル軍がマドリー号に乗り込み、乗組員との通信が出来なくなったと発表した。イスラエル軍ラジオ放送がイスラエル海軍特殊部隊がマドリー号を拿捕したことを伝えた。自由の船団連合はイスラエル軍がマドリー号のボランティア活動家を拉致したことを非難した。イスラエル軍ラジオ放送は軍筋の話としてマドリー号を拿捕後アシュドッド港へ移送していると伝えた。また、同筋は乗組員の身元確認がアシュドッド港の海軍基地の尋問で行われると伝えた。拿捕前には、自由の船団連合の発表によると、イスラエル戦艦がマドリー号の周囲を展開し、頭上に無人機が旋回し、正体不明の白い液体を噴射し、船上では警戒警報が鳴り響いた。欧州議会のリマ・ハッサン議員はその状

況の映像を携帯電話で発送し、「彼らが来た」と書いて、イスラエル軍の船の拿捕を伝えた。一方、パレスチナの人権問題担当国連特別報道官のフランチェスカ・アルバネーゼは、イスラエル軍高速艇がマドリーン号に接舷し、乗組員たちは人道支援物資を運んでいるだけで、平和的に行動していると説明したと、Xプラットフォームで伝えた。アルバネーゼは、マドリーン号はイスラエルの安全保障への脅威ではなく、国際水域で同船を止めて拿捕する権限はイスラエルにはないと明言した。しかし、イスラエル・カッツ国防大臣はマドリーン号がガザに接近するのを阻止せよと軍に命令を出していた。彼は、ガザ回廊封鎖を破ろうとするいかなる試みに対してもあらゆる手段を使って粉碎すると宣言していた。昨日、カンは、治安当局高官が軍がマドリーン号を乗っ取り、アシュドッド港へ曳航し、活動家を逮捕し、同夜のうちに国外追放する計画を話したことを報道した。

6月9日 4:23am

*イスラエル軍：軍はガザ回廊へ向かう自由の船団連合のマドリーン号を国際水域で包囲し、拿捕し、乗船していた活動家を逮捕する一連の行動を記録した映像を公開した。